

3 都立高校の入試仕組み

都立高校の入試には、推薦に基づく入試(推薦入試)と学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割募集)があります。

なお、エンカレッジスクールやチャレンジスクールのように学力検査によらない入試を行う学校もあります。

推薦に基づく入試(推薦入試)

- 推薦入試の目的は、以下のとおりです。

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

- 推薦入試は、主に都立高校全日制課程で実施します。対象となるのは、以下の二つの条件を満たす生徒です。

- (1) 令和6年12月31日現在、都内在住で、都内の中学校に在学して、入学後も引き続き都内に在住し、令和7年3月に都内の中学校を卒業する見込みの生徒
- (2) 志願する都立高校を第1志望とする生徒

- 推薦入試には、以下の3種類があります。

(1) 一般推薦

- 一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。
- 検査は、集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査を組み合わせて実施します。集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の内容については、各学校で定めます。
 - ・ 個人面接は、原則として全ての学校で実施します。集団討論は必要と判断する学校で実施します。
 - ・ 小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査は、それらの中から各学校が一つ以上を選んで実施します。
- 選考は、調査書点のほか、集団討論及び個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績で行います。

調査書点	集団討論・個人面接点	小論文又は作文点	実技検査点	その他学校が設定する検査の点数
総合成績				

(2) 文化・スポーツ等特別推薦

- 文化・スポーツ等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。文化・スポーツ等特別推薦は、実施する学校と実施しない学校があります。また、募集人員は、一般推薦の募集人員に含まれます。
- 検査は、文化・スポーツ等特別推薦を実施する全ての学校で、個人面接又は集団面接及び実技検査を実施します。作文など、その他の検査を実施する場合は、各学校で内容を定めます。
- 選考は、調査書点のほか、個人面接又は集団面接、実技検査及び各学校が定めたその他の検査の各点数を総合した成績で行います。

3 都立高校の入試仕組み

都立 都立高校 入試には、推薦に基づく入試(推薦入試)と学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割募集)があります。

なお、エンカレッジスクールやチャレンジスクールのように学力検査によらない入試を行う学校もあります。

推薦に基づく入試(推薦入試)

- 推薦入試の目的は、以下のとおりです。

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

- 推薦入試は、主に都立高校全日制課程で実施します。対象となるのは、以下の二つの条件を満たす生徒です。

- (1) 2024年12月31日現在、都内に在住し、都内の中学校に在学して、入学後も引き続き都内に在住し、令和7年3月に都内の中学校を卒業する見込みの生徒
- (2) 志願する都立高校を第1志望とする生徒

- 推薦入試には、以下の3種類があります。

(1) 一般推薦

- 一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。
- 検査は、集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査を組み合わせて実施します。集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の内容については、各学校で定めます。
 - ・ 個人面接は、原則として全ての学校で実施します。集団討論は必要と判断する学校で実施します。
 - ・ 小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査は、それらの中から各学校が一つ以上を選んで実施します。
- 選考は、調査書点のほか、集団討論及び個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績で行います。

調査書点	集団討論・個人面接点	小論文又は作文点	実技検査点	その他学校が設定する検査の点数
総合成績				

(2) 文化・スポーツ等特別推薦

- 文化・スポーツ等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。文化・スポーツ等特別推薦は、実施する学校と実施しない学校があります。また、募集人員は、一般推薦の募集人員に含まれます。
- 検査は、文化・スポーツ等特別推薦を実施する全ての学校で、個人面接又は集団面接及び実技検査を実施します。作文など、その他の検査を実施する場合は、各学校で内容を定めます。
- 選考は、調査書点のほか、個人面接又は集団面接、実技検査及び各学校が定めたその他の検査の各点数を総合した成績で行います。

(3) 理数等特別推薦

- 理数等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。
- 検査は、理数等特別推薦を実施する立川高校の創造理数科及び科学技術高校の創造理数科で、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文を実施します。
- 選考は、調査書点のほか、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文の各点数を総合した成績で行います。

- 推薦入試における調査書点は、調査書における各教科の観点別学習状況の評価(全27観点)又は評定(9教科)のどちらか一方を点数化します。点数化するに当たり、観点別学習状況の評価を用いる場合は、各都立高校の特色に応じて、特定の観点の配点を高くするなどして活用します。なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、観点別学習状況の評価を用います。
- 各学校の募集人員に占める推薦入試の募集人員の割合については、11月上旬に発行予定の「令和7年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割募集)

都立高校では、原則として全校が第一次募集を行います。第一次募集の結果、入学手続人員が募集人員に達しない学校は、第二次募集を行います。ただし、分割募集といい、あらかじめ募集人員を分割し、第一次募集期間における募集(分割前期募集)と第二次募集期間における募集(分割後期募集)の2回に分けて募集を行う学校があります。

- 応募資格
令和7年3月に中学校を卒業する見込み又は中学校を卒業していることが必要です。全日制課程を志望する場合は、保護者と同居しており、都内に住所があり、入学後も引き続き都内から通学することが確実であることが必要です。定時制課程を志望する場合は、都内に住所もしくは勤務先があり、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有すること又は入学日までに都内に住所もしくは勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有することが確実であることが必要です。

(3) 이수(理數) 등 특별 추천

- 이수(理數) 등 특별 추천에 지원할 의사가 있으며, 재학 중인 중학교장의 추천을 받은 학생이 응모할 수 있습니다.
- 검사는 이수 등 특별 추천을 실시하는 다치카와 고등학교의 창조이수과 및 과학기술 고등학교의 창조이수과로, 과학 분야 등의 연구에 관한 리포트에 대한 구두 시문, 개인 면접 및 소논문을 실시합니다.
- 전형은 조사서 점수 외에 과학 분야 등의 연구에 관한 리포트에 대한 구두 시문, 개인 면접 및 소논문의 각 점수를 종합한 성적으로 실시합니다.

- 추천 입시의 조사서 점수는 조사서의 각 교과 관점별 학습상황의 평가(전 27 관점) 또는 평정(9 교과) 중 어느 한쪽을 점수화합니다. 점수화할 때 관점별 학습상황의 평가를 이용하는 경우는 각 도립 고등학교의 특색에 따라 특정 관점의 배점을 높게 하는 등 활용합니다. 또한 인커리지 스쿨로 지정된 도립 고등학교는 관점별 학습상황의 평가를 이용합니다.
- 각 학교의 모집 인원내 차지하는 추천 입시 모집 인원 비율에 대해서는 11 월 초순에 발행 예정인 '2025 년도 도쿄도립 고등학교 모집 안내'에서 확인해 주십시오.

학력검사에 의한 입시(제1차 모집, 제2차 모집, 분할 모집)

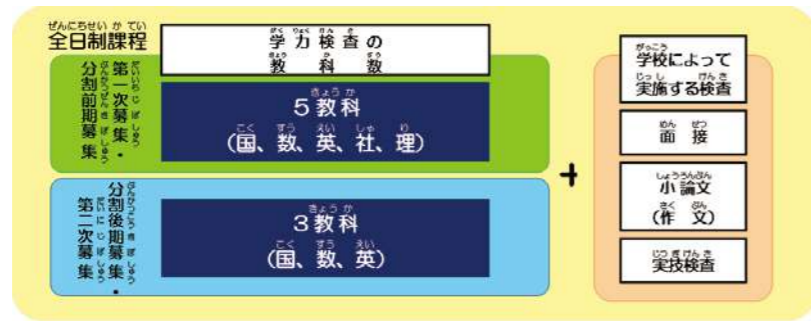
도립고교에서는 원칙적으로 모든 학교가 제1차 모집을 합니다. 제1차 모집 결과 입학 수속 인원인 모집 인원내 미달한 학교가 제2차 모집을 실시합니다. 단, 분할 모집이라고 하며 미리 모집 인원을 분할하고 제1차 모집 기간의 모집(분할 전기 모집)과 제2차 모집 기간의 모집(분할 후기 모집)의 2 회로 나누어 모집을 실시하는 학교가 있습니다.

- 응모 자격
2025년 3월에 중학교를 졸업할 예정 또는 중학교를 졸업한 상태여야 합니다. 전일제 과정을 지원하는 경우는 보호자와 동거하고 있어 도내에 주소가 있으며 입학 후에도 계속해서 도내에서 통학하는 것이 확실해야 합니다. 정시제 과정을 지원하는 경우에는 도내에 주소 혹은 근무처가 있으며 입학 후에도 계속해서 도내에 주소 혹은 근무처가 있거나, 입학일까지 도내에 주소 혹은 근무처가 있으며 입학 후에도 계속 도내에 주소 혹은 근무처가 있는 것이 확실해야 합니다.

● 受検教科
【全日制課程】

第一次募集・分割前期募集では、原則として、国語、数学、英語、社会、理科の5教科を実施します(ただし、芸術及び体育に関する学科については、当該学科に関する能力、適性等をみるため実技検査を行うことから、学力検査は3教科となります。)。また、分割後期募集・第二次募集では、原則として、国語、数学、英語の3教科を実施します。

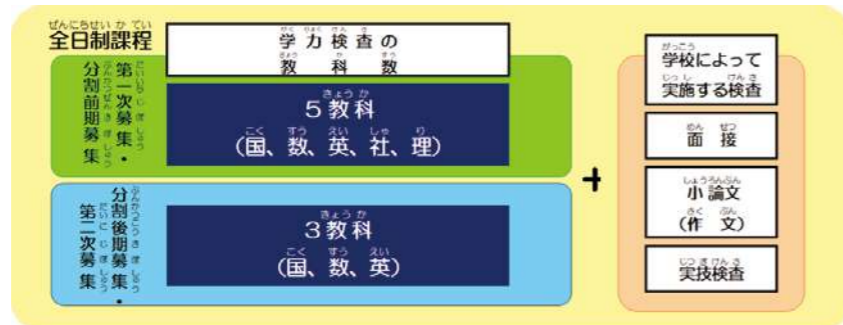
なお、学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。



【定時制課程】

第一次募集・分割前期募集では、原則として、国語、数学、英語、社会、理科の5教科の中から3教科以上を実施します(実施する教科については、各学校が定めます。)。また、分割後期募集・第二次募集では、原則として、国語、数学、英語の3教科を実施します。第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集のどちらにおいても、面接を必ず実施します。

なお、学校によっては、学力検査と面接に加え、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。



● 選考

学力検査の得点、調査書点及び点数化したスピーキングテスト結果のほか、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する学校ではこれらの点数を総合した成績で行います。

学力検査の 得点	調査書点	スピーキング テスト結果	面接点 (※)	小論文又は 作文点(※)	実技検査点 (※)
総合得点					
総合成績					

(※) 面接、小論文又は作文、実技検査を実施する学校と、実施しない学校とがあります。

● 受験教科

【全日制課程】

第1次 모집 및 분할 전기 모집에서는 원칙적으로 국어, 수학, 영어, 사회, 과학의 5 과목을 실시합니다. (단, 예술 및 체육에 관한 학과에 대해서는 해당 학과에 관한 능력, 적성 등을 보기 위해 실기 검사를 실시하므로 학력검사는 3 과목이 됩니다) 또, 분할 후기 모집 및 제 2 차 모집에서는 원칙적으로 국어, 수학, 영어의 3 과목을 실시합니다.

또한, 학교에 따라서는 학력검사 외에 면접, 소논문 또는 작문, 실기 검사를 실시하는 경우가 있습니다.



【정시제 과정】

제 1 차 모집 및 분할 전기 모집에서는 원칙적으로 국어, 수학, 영어, 사회, 과학의 5 과목 중에서 3 과목 이상을 실시합니다. (실시하는 교과에 대해서는 각 학교가 정합니다) 또, 분할 후기 모집 및 제 2 차 모집에서는 원칙적으로 국어, 수학, 영어의 3 과목을 실시합니다. 제 1 차 모집 및 분할 전기 모집, 분할 후기 모집 및 제 2 차 모집 모두 반드시 면접을 실시합니다.

또한, 학교에 따라서는 학력검사와 면접 외에 소논문 또는 작문, 실기 검사를 실시하는 경우가 있습니다.



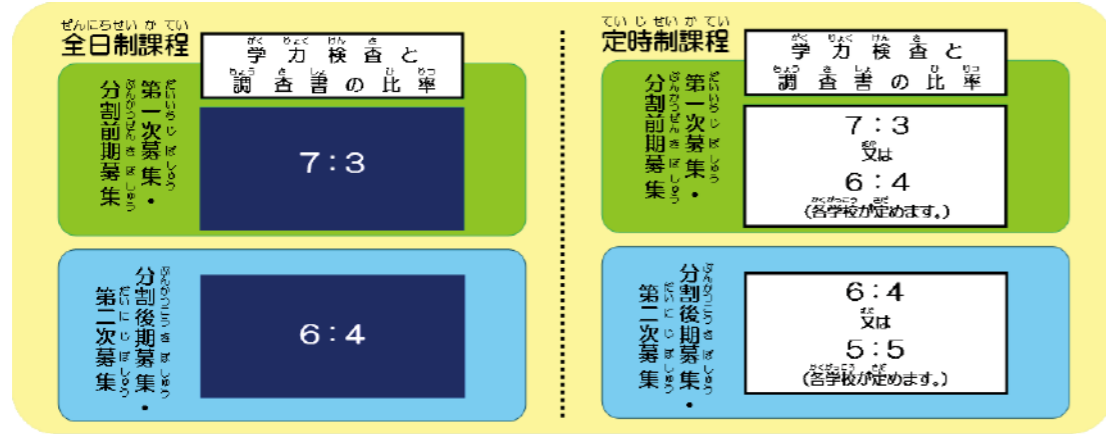
● 전형

학력검사의 득점, 조사서 점수 및 점수화된 스피킹 테스트 결과 외에, 면접, 소논문 또는 작문, 실기 검사를 실시하는 학교에서는 이들 점수를 종합한 성적으로 실시합니다.

학력검사의 득점	조사서 점수	스피킹 테스트 결과	면접 점수 (※)	소논문 또는 작문 점수 (※)	실기 검사 점수 (※)
종합 득점					
종합 성적					

(※) 면접, 소논문 또는 작문, 실기 검사를 실시하는 학교와 실시하지 않는 학교가 있습니다.

- **学力検査の得点と調査書点の比率**
 全日制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「7:3」、分割後期募集・第二次募集では、原則として、「6:4」になります(ただし、芸術及び体育に関する学科については、学力検査が3教科となることから、どちらの募集も「6:4」となります。)。また、定時制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「7:3」又は「6:4」のどちらかを各学校が定め、分割後期募集・第二次募集では、原則として、「6:4」又は「5:5」のどちらかを各学校が定めます。

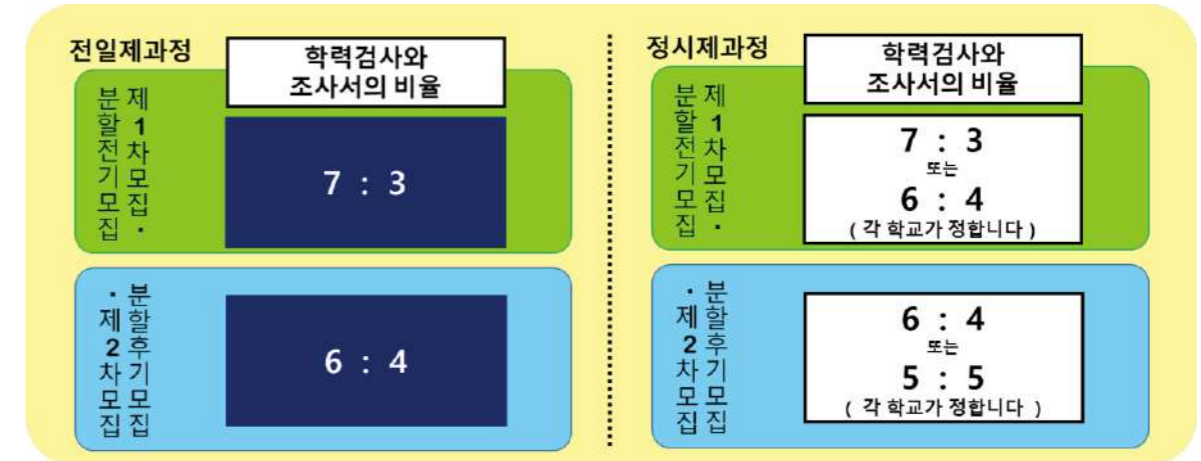


- **学力検査に基づく入試における調査書点**
 学力検査を5教科で実施する場合には、学力検査を実施しない実技4教科について、評定の合計を2倍して、点数化します。学力検査が3教科(国語・数学・英語)の場合には、これらの教科を除いた6教科の評定の合計を2倍して、点数化することになります。
 学力検査に基づく入試における調査書点の点数化については、11、12ページをご覧ください。
- **その他**
 面接、小論文又は作文、実技検査の満点は、各学校で定めます。
 「学力検査問題の自校作成」、「学力検査によらない入試」といった特色ある入試を実施する学校もあります(18~26ページのQ&A参照)。

【学力検査によらない入試】

- チャレンジスクール(6ページ参照)では、調査書を用いず、また、学力検査を行わず、志願申告書、個人面接及び作文により選考を行います(調査書及び自己PRカードの提出は不要です。)
- エンカレッジスクール(5ページ参照)では、学力検査を行わず、調査書、面接、小論文又は作文及び実技検査の各得点を総合した成績で選考を行います。

- **学力検査 得点と 調査書 点数の 比率**
 全日制課程の第1次 모집 및 분할 전기 모집에서는 원칙적으로 7:3, 분할 후기 모집 및 제 2 차 모집에서는 원칙적으로 6:4 입니다. (단, 예술 및 체육에 관한 학과에 대해서는 학력검사가 3 과목이 되기 때문에 양쪽 모집 모두 6:4 입니다) 또, 정시제 과정의 제 1 차 모집 및 분할 전기 모집에서는 원칙적으로 7:3 또는 6:4 중 하나를 각 학교가 정하고 분할 후기 모집 및 제 2 차 모집에서는 원칙적으로 6:4 또는 5:5 중 하나를 각 학교가 정합니다.



- **学力검사에 의한 입시의 조사서 점수**
 学力검사를 5 과목으로 실시하는 경우 学力검사를 실시하지 않는 실기 4 과목에 대해서 평가 합계를 2 배로 해서 점수화합니다. 学力검사가 3 과목(국어·수학·영어)인 경우에는 이 과목을 제외한 6 과목의 평가 합계를 2 배로 해서 점수화하게 됩니다.
 学力검사에 의한 입시의 조사서 점수 점수화에 대해서는 11,12 페이지를 참조하십시오.
- **기타**
 면접, 소논문 또는 작문, 실기 검사의 만점은 각 학교에서 정합니다.
 '学力검사 문제의 학교 자체 작성', '学力검사에 의하지 않는 입시' 등 특색 있는 입시를 실시하는 학교도 있습니다. (18~26 페이지의 Q&A 참조)

【학력 검사에 의하지 않는 입시】

- 챌린지 스쿨(6 페이지 참조)에서는 조사서가 필요 없으며 또 학력검사도 실시하지 않고 지원 신고서, 개인 면접 및 작문으로 전형을 실시합니다. (조사서 및 자기 PR 카드의 제출은 불필요합니다)
- 인커리지 스쿨(5 페이지 참조)에서는 학력검사를 실시하지 않고 조사서, 면접, 소논문 또는 작문 및 실기 검사의 각 득점을 종합한 성적으로 전형을 실시합니다.

がくりよけんさもと にゅうし だいいちじほしゅう だいにじほしゅう ぶんかつほしゅう ちょうさしよてん
学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割募集)における調査書点について

- 学力検査に基づく入試では、評定を調査書点として点数化します。
- 調査書点は、次の表のとおり、学力検査を実施する教科の評定を1倍、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して、算出します。

がくりよけんさ きょうか 学力検査の教科	ばい きょうか 1倍する教科	ばい きょうか 2倍する教科	ひょうてい まん 評定の満点
きょうか こく すう えい しや り ばあい 5教科(国・数・英・社・理)の場合	こく すう えい しや り 国・数・英・社・理	おん ひ ほたい ぎ か 音・美・保体・技家	65点
きょうか こく すう えい ばあい 3教科(国・数・英)の場合	こく すう 国・数	しや り おん ひ ほたい ぎ か 社・理・音・美・保体・技家	75点

(注)「評定の満点」は、各教科の評定が全て「5」である場合

- 以下の東京花子さんの例で調査書点の点数化について説明します。

(例) 東京花子さんの各教科の評定

こくご 国語	しゃかい 社会	すうがく 数学	りか 理科	おんがく 音楽	びじゅつ 美術	ほけんたいいく 保健体育	ぎじゅつ 技術・ かてい 家庭	がいこくご 外国語 (英語)
5	4	3	3	3	4	5	3	5

学力検査に 의한 입시(제 1 차 모집, 제 2 차 모집, 분할 모집)의 조사서 점수에 대하여

- 学力検査에 의한 입시에서는 평가를 조사서 점수로 점수화합니다.
- 조사서 점수는 다음 표와 같이 학력검사를 실시하는 교과목의 평가를 1 배, 학력검사를 실시하지 않는 교과목의 평가를 2 배로 하여 산출합니다.

학력검사 교과목	1 배로 하는 교과목	2 배로 하는 교과목	평가의 만점
5 과목(국·수·영·사·과)의 경우	국·수·영·사·과	음악·미술·보건체육· 기술가정	65 점
3 과목(국·수·영)의 경우	국·수·영	사·과·음악·미술· 보건체육·기술가정	75 점

(주) '평가의 만점'은 각 교과목의 평가가 모두 '5'인 경우

- 다음 도쿄 하나코 씨의 예로 조사서 점수의 점수화에 대해 설명합니다.

(예) 도쿄 하나코 씨의 각 교과목 평가

국어	사회	수학	과학	음악	미술	보건체육	기술가정	외국어 (영어)
5	4	3	3	3	4	5	3	5

① 学力検査を5教科(国・数・英・社・理)、学力検査の得点と調査書点の比率を「7:3」で実施する学校の場合

学力検査の得点と調査書点の合計点は1000点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「7:3」の場合、調査書点の満点は300点となります。

- ・ 学力検査を実施する教科(国・数・英・社・理)の評定の合計は、 $5+3+5+4+3=20$ 点
- ・ 学力検査を実施しない教科(音・美・保体・技家)の評定の合計は、 $(3+4+5+3) \times 2=30$ 点

これらを足すと、20点+30点=50点 となります。

このため、東京花子さんの調査書点は、 $300点 \times 50点 \div 65点$ (評定の満点) = 230点 となります。

※小数点以下が発生した場合は切り捨て

② 学力検査を3教科(国・数・英)、学力検査の得点と調査書点の比率を「6:4」で実施する学校の場合

学力検査の得点と調査書点の合計点は1000点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「6:4」の場合、調査書点の満点は400点となります。

- ・ 学力検査を実施する教科(国・数・英)の評定の合計は、 $5+3+5=13$ 点
- ・ 学力検査を実施しない教科(社・理・音・美・保体・技家)の評定の合計は、 $(4+3+3+4+5+3) \times 2=44$ 点

これらを足すと、13点+44点=57点 となります。

このため、東京花子さんの調査書点は、 $400点 \times 57点 \div 75点$ (評定の満点) = 304点 となります。

※小数点以下が発生した場合は切り捨て

学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割募集)では、上記のとおり、評定を調査書点として点数化しますが、エンカレッジスクール(5ページ参照)では、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出します。

① 学力検査を5教科(国・数・英・社・理)、学力検査の得点と調査書点の比率を「7:3」で実施する学校の場合

学力検査の得点と調査書点の合計点は1000点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「7:3」の場合、調査書点の満点は300点となります。

- ・ 学力検査を実施する教科(国・数・英・社・理)の評定の合計は、 $5+3+5+4+3=20$ 点
- ・ 学力検査を実施しない教科(音・美・保体・技家)の評定の合計は、 $(3+4+5+3) \times 2=30$ 点

これらを足すと、20点+30点=50点 となります。

このため、東京花子さんの調査書点は、 $300点 \times 50点 \div 65点$ (評定の満点) = 230点 となります。 ※小数点以下が発生した場合は切り捨て

② 学力検査を3教科(国・数・英)、学力検査の得点と調査書点の比率を「6:4」で実施する学校の場合

学力検査の得点と調査書点の合計点は1000点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「6:4」の場合、調査書点の満点は400点となります。

- ・ 学力検査を実施する教科(国・数・英)の評定の合計は、 $5+3+5=13$ 点
- ・ 学力検査を実施しない教科(社・理・音・美・保体・技家)の評定の合計は、 $(4+3+3+4+5+3) \times 2=44$ 点

これらを足すと、13点+44点=57点 となります。

このため、東京花子さんの調査書点は、 $400点 \times 57点 \div 75点$ (評定の満点) = 304点 となります。 ※小数点以下が発生した場合は切り捨て

学力検査に代わる入試(第1次募集、第2次募集、分割募集)では、上記のとおり、評定を調査書点として点数化しますが、エンカレッジスクール(5ページ参照)では、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出します。

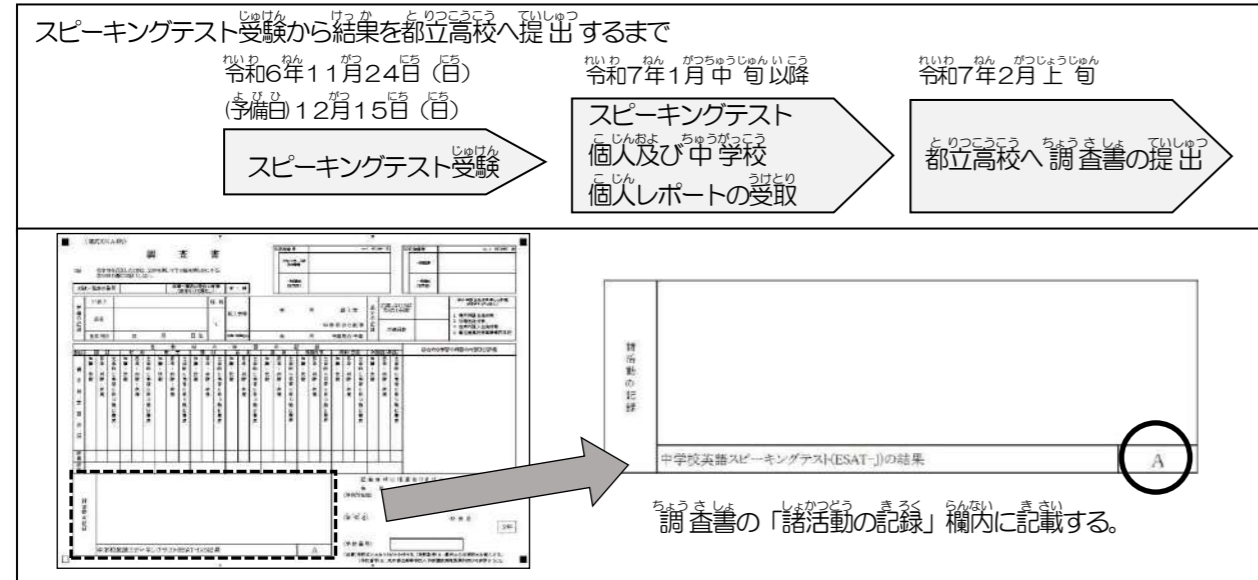
都立高校入試における中学校3年生対象の中学校英語スピーキングテスト

(ESAT-J YEAR 3) の結果活用について

- 都立高校入試では、中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J YEAR 3) (以下「スピーキングテスト」といいます。) の結果を活用します。

① スピーキングテスト結果の都立高校への提出について

中学校は、スピーキングテスト結果として提供を受けた6段階の評価を、生徒の調査書に記載します。調査書は、生徒の志願先の都立高校へ提出します。



② スピーキングテスト結果の都立高校入試における活用区分について

スピーキングテスト結果は、第一次募集・分割前期募集において活用します。
(エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校は対象外です。)

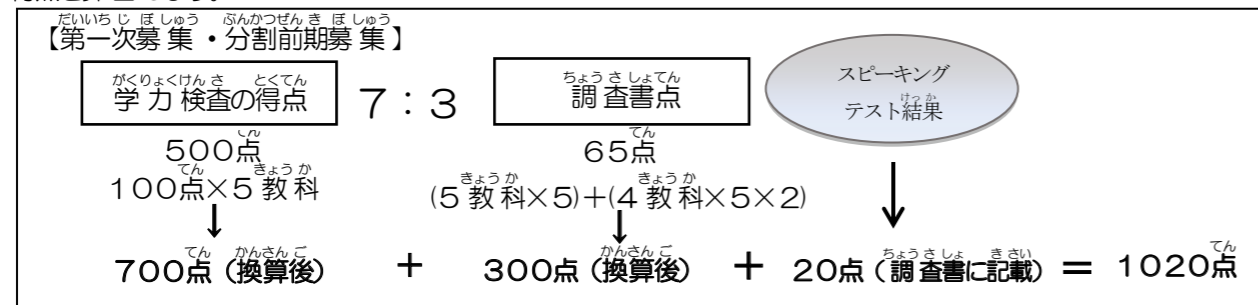
③ 評価の点数化について

都立高校ではAからFまでの6段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点の点数として取り扱います。

スピーキングテスト結果(評価)	A	B	C	D	E	F
都立高校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

④ 総合得点の算出について

都立高校では、学力検査の得点と調査書点の合計(1000点満点)にスピーキングテスト結果の点数を加え、総合得点を算出します。

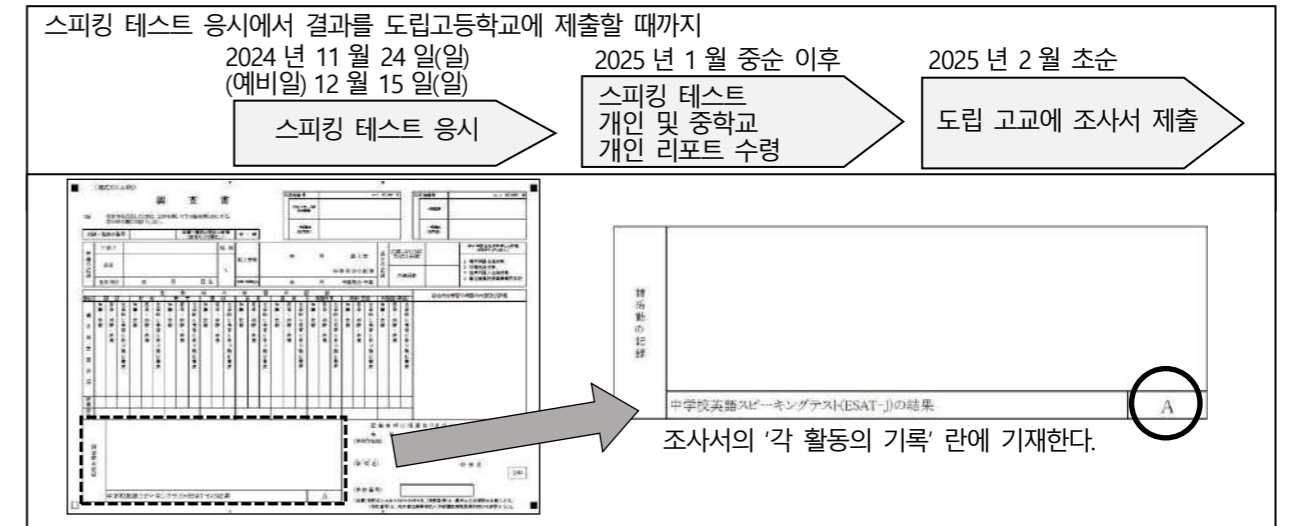


都立高校入試で中学校3年生対象の中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR 3)の結果活用について

- 都立高校入試では、中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J YEAR 3)(以下「スピーキングテスト」といいます。)の結果を活用します。

① スピーキングテスト結果の都立高校への提出について

中学校は、スピーキングテスト結果として提供を受けた6段階の評価を、生徒の調査書に記載します。調査書は、生徒の志願先の都立高校へ提出します。



② スピーキングテスト結果に対する都立高校入試の活用区分について

スピーキングテスト結果は、第1次募集及び分前期募集において活用します。
(インクルージブスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校は対象外です。)

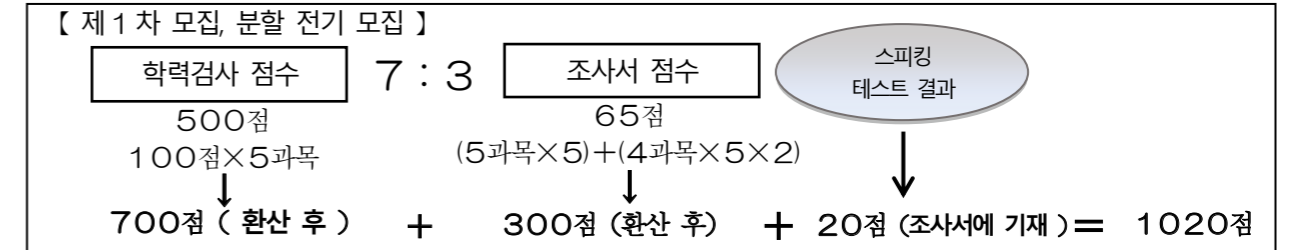
③ 評価の点数化について

都立高校ではAからFまでの6段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点の点数として取り扱います。

スピーキングテスト結果(評価)	A	B	C	D	E	F
都立高校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

④ 総合得点の算出について

都立高校では、学力検査の得点と調査書点の合計(1000点満点)にスピーキングテスト結果の点数を加え、総合得点を算出します。



⑤ 不受験者の扱いについて

スピーキングテスト不受験者については、都立高校入試において不利にならないように取り扱います。

(1) 不受験者とは、次のア又はイに該当する者として扱います。

ア 東京都の公立中学校等に在籍する者のうち、スピーキングテスト実施日（予備日を含む。）に、インフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法第19条により中学校長が出席停止の措置を行った者及び受験者本人の責めによらず、やむを得ない理由（病気で入院、交通事故により負傷等）により受験することができなかった者

イ スピーキングテスト実施日時点で、東京都の公立中学校等に在籍していないため、スピーキングテストを受験していない者（私立中学校在籍者、他県中学校在籍者等）

(2) 不受験者については、「仮のスピーキングテスト結果」を次のとおり算出します。

英語学力検査の得点で順位を決め、不受験者と英語学力検査の得点と同じ者のスピーキングテスト結果を「③評価の点数化について」に基づいてそれぞれ点数化し、その平均値により、不受験者の「仮のスピーキングテスト結果」を求めます。

その際、平均値が18点以上はA、14点以上18点未満はB、10点以上14点未満はC、6点以上10点未満はD、2点以上6点未満はE、2点未満はFとします。

右の表では、英語の学力検査の得点と同じ者のスピーキングテスト結果はAが3名、Bが5名、Cが2名であり、平均値は16.4点となるため、不受験者の「仮のスピーキングテスト結果」はBになります。

英語学力検査 の順位	英語学力検査 の得点	ESAT-J 結果
36	78	A
37	76	B
38	75	A
38	75	B
38	75	A
38	75	B
38	75	C
38	75	> 不受験者
38	75	A
38	75	B
38	75	B
38	75	C
49	74	B

不受験者の換算方法の詳細はこちら ⇒



⑤ 不응시者の 취급に 대하여

スピー킹 테스트 불응시자에 대해서는 도립 고교 입시에서 불리하게 되지 않도록 취급합니다.

(1) 불응시자란 다음의 가 또는 나에 해당하는 사람입니다.

가) 도쿄도의 공립 중학교 등에 재적하는 자 중, 스피킹 테스트 실시일(예비일을 포함함)에 인플루엔자 등에 걸린 환자, 학교 보건안전법 제 19 조에 의해 중학교장이 출석 정지의 조치를 취한 자 및 응시자 본인의 책임이 아닌 부득이한 이유(병으로 인한 입원, 교통 사고로 인한 부상 등)에 의해 응시할 수 없었던 자

나) 스피킹 테스트 실시일 시점에서 도쿄도의 공립 중학교 등에 재적하고 있지 않아서 스피킹 테스트를 응시하지 않은 자(사립 중학교 재적자, 타현 중학교 재적자 등)

(2) 불응시자에 대해서는 '임시 스피킹 테스트 결과'를 다음과 같이 산출합니다.

영어 학력검사의 득점으로 순위를 정하고 불응시자와 영어 학력검사의 득점이 같은 자의 스피킹 테스트 결과를 '③ 평가의 점수화에 대하여'에 따라 각각 점수화하고, 그 평균치에 따라 불응시자의 '임시 스피킹 테스트 결과'를 산출합니다.

그 때, 평균치가 18 점 이상은 A, 14 점 이상 18 점 미만은 B, 10 점 이상 14 점 미만은 C, 6 점 이상 10 점 미만은 D, 2 점 이상 6 점 미만은 E, 2 점 미만은 F로 합니다.

오른쪽 표에서는 영어 학력검사의 득점이 같은 자의 스피킹 테스트 결과는 A가 3명, B가 5명, C가 2명이고 평균치는 16.4 점이 되기 때문에, 불응시자의 '임시 스피킹 테스트 결과'는 B가 됩니다.

불응시자의 환산 방법에 관한 자세한 내용은 이쪽 ⇒



英語学力検査 の順位	英語学力検査 の得点	ESAT-J 結果
36	78	A
37	76	B
38	75	A
38	75	B
38	75	A
38	75	B
38	75	C
38	75	> 不受験者
38	75	A
38	75	B
38	75	B
38	75	C
49	74	B